

図6 ABトラック周辺 地下水コンター(H20.4.15)

● 観測地点
← ABトラックの地下水の
全体的な流動方向を表す

※数値はTP(m)

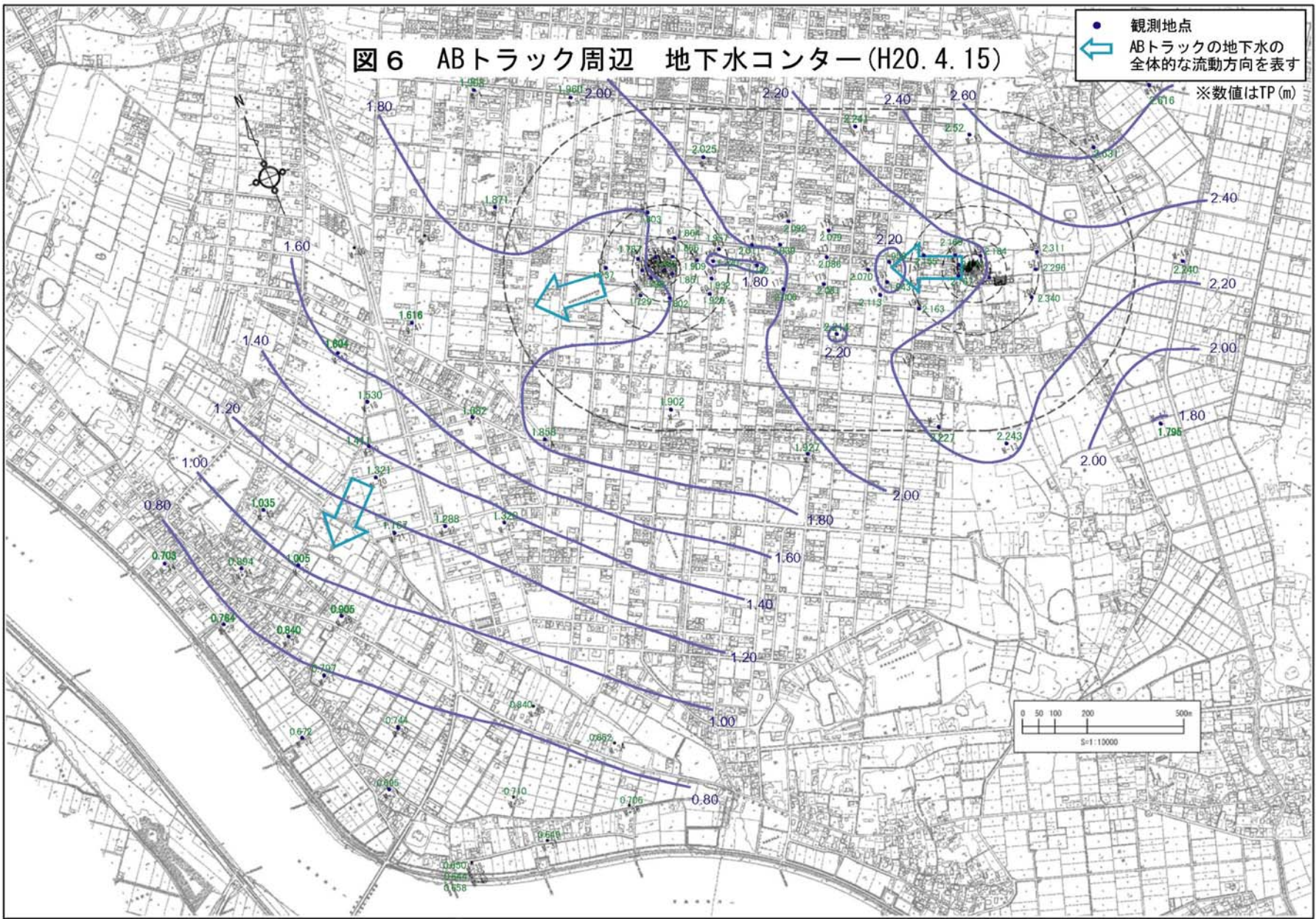


図7 ABトラック周辺 地下水コンター (H20. 5. 15)

● 観測地点
← ABトラックの地下水の
全体的な流動方向を表す
※数値はTP (m)

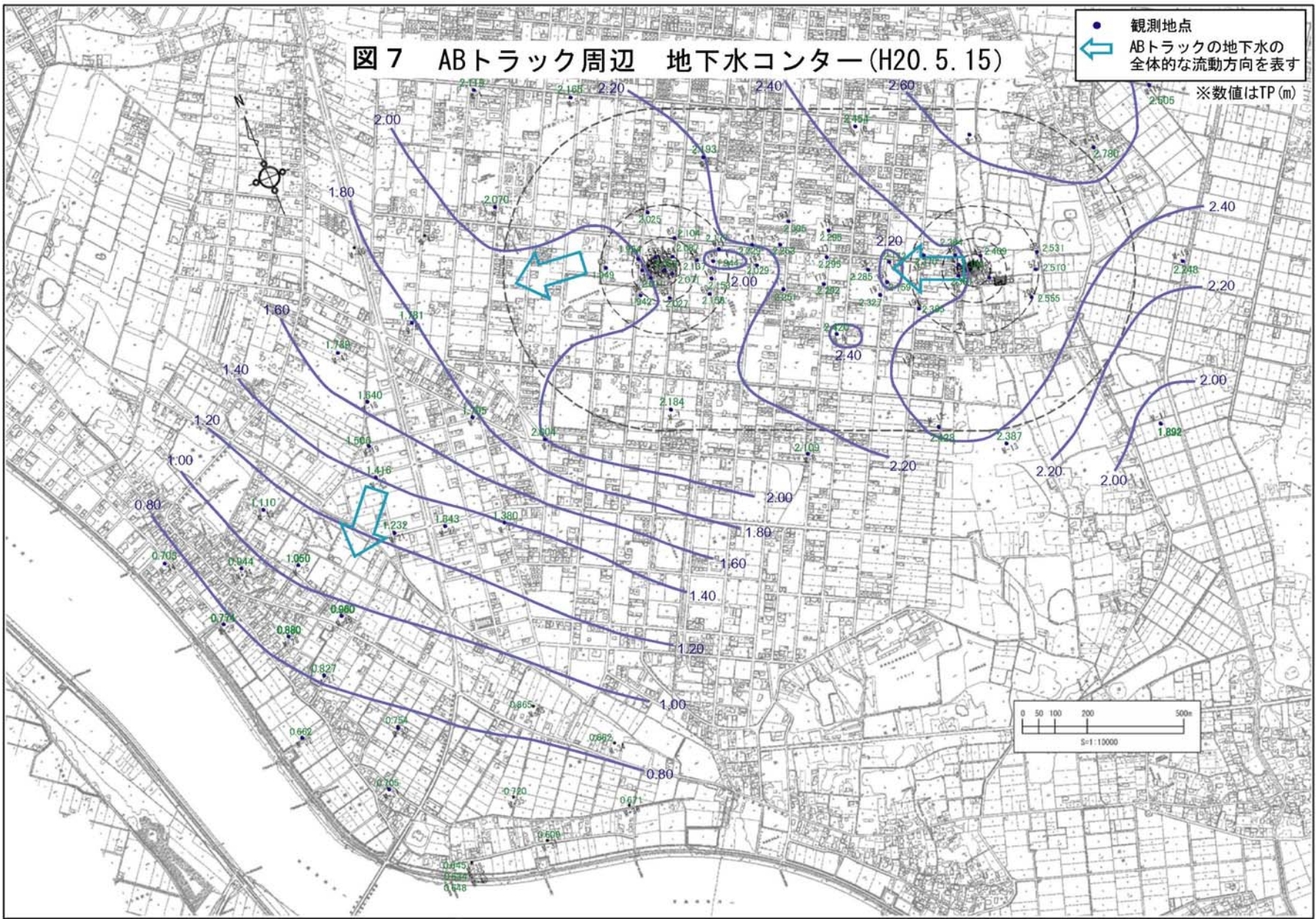
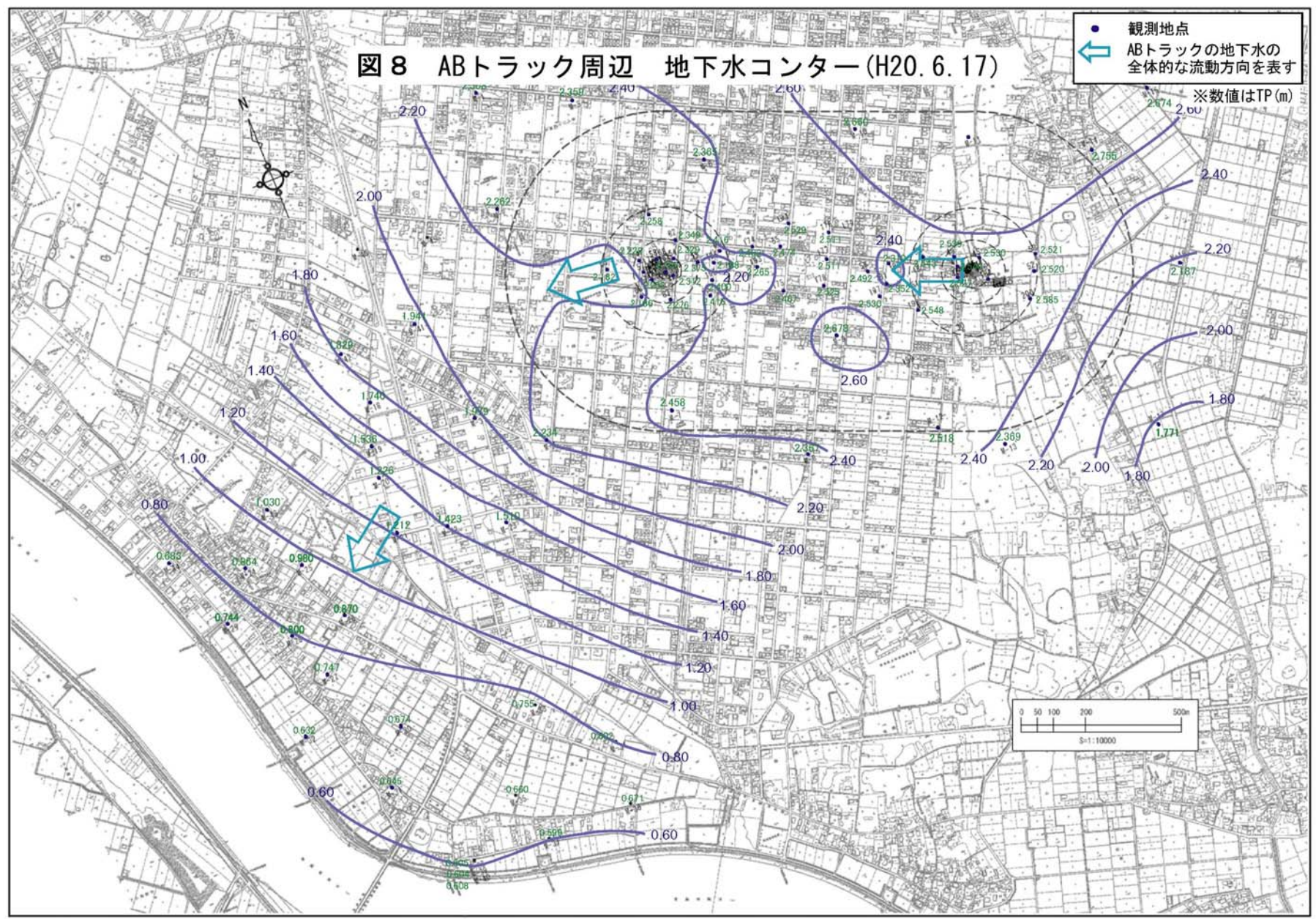


図8 ABトラック周辺 地下水コンター(H20. 6. 17)

● 観測地点
 ← ABトラックの地下水の
 全体的な流動方向を表す

※数値はTP(m)



2) 夏季地下水位の測定結果(図-3、図-9～図-11)

夏季(7月から9月)での地下水位は、平成20年4月以降の断続的な降雨により上昇傾向にあったが、平成20年7月以降、降雨が少なかったため減少している。

平成20年8月28～31日かけて、17.5mm、34.5mm、19.5mm、70.0mmと連続的な降雨があったため水位はA井戸付近で40cm程度上昇し、9月18日時点で、A井戸付近で水位標高2.45m、B地区で水位標高2.10m程度となっている。

水面形状は、A井戸の北東側観測孔(M-14、M-15)の水位が高いものの、AB間で見れば、これまで同様、A井戸からB地区に向かう流れが恒常的に見られる。

ABトラック南西地域では、平成19年9月にM-18、M-29が、平成20年2月にM-41でDPAAが確認されたことを受け、さらに外縁にモニタリング孔(M-45、M-46)を設置し、2008年7月以降地下水位を観測しているが、それら追加的に得られた水位データを考慮しても、B地区から下流の地下水の流れは、これまで同様に常陸利根川に向かうことが確認されている。

また、過去2年間程度の水位データから、ABトラック南西端地域から常陸利根川に向かう地下水流れは、水位が高いとより南東側(常陸利根川の下流方向)に、水位が下がると南西方向(常陸利根川の上流)に変化する傾向にある。